

# 下垂体埋没療法の効果並に副作用に関する研究

## 第2編 勃起力に対する牛下垂体埋没の効果

(指導根岸教授)

玉島市 石 泰 三  
石 天 之 樞

岡山大学医学部皮膚科泌尿器科教室

小 松 邦 美

〔昭和29年8月10日受稿〕

### 第1章 緒 言

牛下垂体の埋没移植を行うと勃起力が亢進するとかしないとかということはいろいろ論議されているが亢進する場合それがどの程度持続するものであるかは臓器移植という一つの流行がすでに過ぎ去った現在にあつてもなお興味のある問題として残されている。しかしその解決にあつて勃起力の亢進の度合を具体的に記載したものがなくその判定に当惑するのである。最近2～3の症例に牛下垂体前葉移植を行つて効果を挙げたのでそのうち第2章にのべるような規約を設けてそれに協力した数例の結果をまとめた。

### 第2章 供試症例ならびに効果判定の基準

症例はすべて視・触診上陰茎、陰囊内容、前立腺および精囊に器質的異常をみとめなかつた成年男子7例で1回の移植量は牛下垂体前葉1頭あるいは2頭分、移植部位は大腿前面広筋膜下にトロワカールで埋没した。性意識の自覚とともに(性行為を含む)その勃起の状態および持続時間を次の5段階に分け問診によつて判定した。

1. 第I度：全く勃起しない
2. 第II度：僅かに陰茎容量、硬度が増加するが陰茎の腔内挿入は不能である。
3. 第III度：陰茎の容積、硬度は前段階より強く陰茎の腔内挿入は可能であるが時間的に早く萎縮し(3分未満)射精は行われぬ。

4. 第IV度：性交可能であるが射精後直ちに萎縮する。

5. 第V度：満足な性交が可能で射精後もなおある期間勃起が持続しうる。

なお移植を行うに際してその効果を誇張するような暗示的教育は避けた。

### 第3章 自 験 例

症例は7例でその概略は第1表に一括してしめた。

すなわち第1例は移植後所謂 Morgenerektion は5日目より第IV度、夜間のそれは9日目より第III度となり性交できるという自信をもち20日目始めて性交を行うに第V度の勃起力をみた。そして26日目に結婚し以来充分満足な性交を行うことができ5ヶ月目に妻は妊娠したのである。移植の効果は以後恒久的であつた。

第2例：術前の勃起力は第II～第III度で性交不能であつた。移植後9日目に手淫を行つたところ勃起力第V度に達し2.6ccの全く正常な精液を得ることができた。かゝる勃起力の増強は移植後35日目まで続いたが以後ふたたび減退し術前と同様に減退してしまつた。本例においてこの間第V度の勃起力をみたのは起床時11回夜間3回、第IV度のそれは起床時3回夜間12回であつた。

第3例：移植前第III度の勃起力は移植後起床時は5日目以後、夜間は7日目より増強し性交可能となり諸種表記の自覚症も頓に軽減

第 1 表 自 験 例

症 例	主 訴	移 植 量, 回 数	経 過	備 考
1. 田○, 27才, 未 婚, 農業	勃起力減退 性交不能	2頭分ず つ2回, 間隔8日	移植前第Ⅱ度, 起床時勃起力: 5日目第Ⅳ度 7日目以降第Ⅲ度と第Ⅴ度の間を継続. 夜 間: 9日目以降第Ⅲ度以上になる. 20日目性 交可能(第Ⅴ度). 26日目結婚以後勃起力第Ⅴ 度. 5ヶ月後妻妊娠す.	体重増加す(2.3kg)
2. 高○, 23才, 未 婚, 農業	勃起力減退 疲労感	1頭分, 1週後2 頭分	移植前起床時第Ⅲ度, 夜間第Ⅱ度. 起床時9 日目第Ⅴ度(手淫にて精液採取可能), 14~22 日目第Ⅲ度, 23~35日目第Ⅴ度. 夜間: 15日 目1回のみ第Ⅴ度. 以後第Ⅳ度, 31, 32日目第 Ⅴ度. 以後術前同様に減退す.	食欲増加す
3. 浅○, 27才, 既 婚, 無職	記憶力減退, 倦怠感, 歩 行時神経痛 様疼痛	2頭分ず つ2回, 間隔23日	移植前第Ⅲ度. 起床時 5日目第Ⅳ度, 11日 目以降第Ⅴ度. 夜間: 7日目第Ⅳ度, 12日目 以降第Ⅴ度7ヶ月持続す.	自覚症消失す.
4. 大○, 24才, 未 婚, 農業	記憶力減退, 倦怠感, 羸 瘦	1頭分1 回	移植前第Ⅰ度, 起床時: 4日目第Ⅲ度, 6日目 第Ⅴ度, 7~11日目第Ⅳ度, 12日目第Ⅴ度, 以後 第Ⅲ~第Ⅳ度, 夜間: 3日目第Ⅲ度, 14日目, 19日目, 30日目第Ⅴ度, その間は第Ⅲ~Ⅳ度	6日目以降倦怠感消 失す
5. 赤○, 29才, 既 婚, 農業	頭部脱毛	1頭分ず つ2回, 間隔8日	移植前第Ⅴ度, 移植後4~10日目第Ⅰ~Ⅱ度 に一旦減退したが以後再び増強, 第Ⅴ度を保 つた.	28日目発毛す.
6. 大○, 22才, 未 婚, 吏員	疲労倦怠感, 羸瘦, 勃起 力減退	1頭分, 26日後2 頭分	移植前第Ⅰ度, 起床時: 4日目以降第Ⅱ度, 20日目, 22日目, 23日目, 30日目, 33日目第 Ⅳ度, その間および以降第Ⅱ度, 夜間: 11日 目第Ⅱ度, 22日目, 30日目第Ⅳ度, 46日目迄 第Ⅱ度, 以後第Ⅰ度	体重増加す, (1kg), 倦怠感消失, 食欲亢 進す.
7. 小○, 26才, 未 婚, 農業	勃起力減退	2頭分1 回	移植前第Ⅱ~第Ⅲ度, 起床時, 夜間とも移植 後9日目迄第Ⅳ度, 以後10日間第Ⅱ~Ⅲ度, 21日目結婚以後第Ⅳ~第Ⅴ度を継続す	エナルモンペレット (50mg)を移植前6日 に埋没, 1ヶ月後顔面 に尋常性痤瘡出現す.

したが7ヶ月目頃より再びロイマチスムス様の疼痛を訴えるようになった。

第4例: 移植前全く勃起不能であつたが移植後は起床時勃起力は4日目より, 夜間勃起力は3日目より増強し32日間の観察では第Ⅴ度の勃起力をみたのが起床時2回, 夜間3回, 第Ⅳ度のそれは起床時10回, 夜間12回あつた。

第5例: 本例は性慾, 勃起力ともに正常であつた。移植後4日目第Ⅰ度, 5日目第Ⅱ度, 6日目第Ⅰ度, 9日目10日目に第Ⅱ度と著明な勃起力の減退をみたが以後はふたゝび移植前同様の正常力にかへつた。

第6例 移植前勃起力第Ⅰ度すなわち全く勃起不能であつたが起床時勃起力は4日目夜間のそれは11日目より漸次増強し58日間持続した。その間しかし第Ⅴ度の勃起は1回もなく第Ⅳ度のそれは起床時6回, 夜間2回を数えたにすぎなかつた。

第7例: 移植前第Ⅱ度~第Ⅲ度の勃起力にすぎなかつた。先ずエナルモン・ペレット50mgを大腿皮下に埋没し6日後下垂体を移植した。移植後起床時, 夜間とも一旦第Ⅳ度に増強し10日目以後再び減弱したが21日目結婚し第Ⅴ度の勃起力をえた。移植後結婚までの20日間に第Ⅴ度の勃起力は1回もえられず第Ⅳ度のそれは起床時6回, 夜間6回あつた。

#### 第4章 比較考察

1. 陰萎に対する効果: 後藤氏は下垂体埋没移植は性慾に対して20~30才のものは明らかな影響はないが40才を越える頃から著明な効果が認められるとのべ, 荒川外4氏は陰萎の3例(40才台2例, 25才1例)のうち40才のもの1例が漸く性交可能の状態に恢復したといい, 樋口氏らは下垂体前葉移植によつ

て性慾の亢進を自覚したものを 51 例中 23 例に確認している。そして上記諸氏の移植効果は実験例の約  $\frac{1}{2}$  ~  $\frac{1}{3}$  に有効のようである。しかしそれらにおいてもなんな具体的な詳述はみられなかつた。

2. 勃起力に関する具体的成績：第 2 表に示すように移植により恒久的な勃起力の増強をみたものは第 1 例のみであるがその他 3 週間ないし 7 ヶ月にわたつてその効果をみとめることができた。しかし第 5 例のように移

第 2 表 下垂体移植による勃起力の亢進

症 例	移 植 前 勃 起 力	勃起力が亢進した日		亢進が持続した期間		最 強 勃 起 力	
		起 床 時	夜 間	起 床 時	夜 間	起 床 時	夜 間
1	第 II 度	5 日 目	9 日 目	恒 久 的	恒 久 的	第 V 度	第 V 度
2	第 III 度	9 日 目	14 日 目	2 9 日	2 0 日	第 V 度	第 V 度
3	第 III 度	5 日 目	7 日 目	7 ヶ 月	7 ヶ 月	第 V 度	第 V 度
4	第 I 度	4 日 目	3 日 目	2 6 日	2 7 日	第 V 度	第 V 度
5	第 V 度	むしろ一時減退す。					
6	第 I 度	4 日 目	11 日 目	5 8 日	4 6 日	第 IV 度	第 IV 度
7	第 III 度	9 日 目	9 日 目			第 IV 度	第 IV 度

植前すでに正常の勃起力を有した例でかえつて一時的ではあるが減退したものもあり、第 7 例のように結婚によつて増強したようにみえ効果の充分明白でないものもある。また勃起力の亢進した日を見ると第 4 例をのぞいて大多数は起床時のそれ（いわゆる Morgenerktion）が夜間のそれよりやや早期に反応し長期にわたつてその増強度を維持するようである。最強勃起力は第 IV ~ 第 V 度すなわち正常強度に達し妻帯者と独身者との間になんら差異をみとめない。更に起床時および夜間に第 IV 度以上の強い勃起力をみた回数を見ると第 3 表の通りであつて一般に起床時の勃起回数の方が夜間より多くその強度は第 IV 度より第 V 度をしめすことが多い。

### 第 5 章 結 論

われわれは牛下垂体前葉を埋没移植し比較的長期間その勃起力に対する効果を観察しえた 7 例について次の結論をえた。

1. 牛下垂体の埋没移植によつて勃起力は亢進するものが多くその効果の継続期間も 3

第 3 表 勃起力が亢進した回数

症 例	観 察 日 数	起 床 時			夜 間		
		第 V 度	第 IV 度	計	第 V 度	第 IV 度	計
1	33	21	2	23	16	0	16
2	41	11	3	14	3	12	15
3	30	18	6	24	15	8	23
4	32	2	10	12	3	12	15
5	46	35	6	41	18	5	23
6	58	0	6	6	0	2	2
7	20	0	6	6	0	6	6

週間以上、著効を奏した例においては 7 ヶ月以上持続しうる。

2. 勃起力の亢進の発現は早いものでは下垂体埋没後数日、遅くとも 2 週間後にみられる。

3. いわゆる Morgenerktion は夜間のそれより早期に増強しその発現回数もより頻回にみられる。

4. 以上の効果はまた未婚者と既婚者の間に特別の差をみとめない。

稿を終るに当つて恩師根岸教授の御指導御校閲に深甚の謝意を表します。

### 参 考 文 献

- 1) 後藤：皮膚と泌尿，13 卷，4~5 号，昭 26。  
2) 荒川外：四国医学雑誌，1 卷，1 号，昭 25。

- 3) 樋口外：皮膚と泌尿，12 卷，2 号，昭 25。